

35

▼ sensorsとcronとRubyスクリプトでCPUの温度を監視する

252

1. CPUの温度監視とはじめ

わたしはいま、開発用パソコンのCPUファンが壊れて、間に合わせの弱々しいファンを代わりに付けて使っている。これはあくまで「間に合わせ」。CPUをブン回すようなことをすると、温度がみるみる上がってパソコンが壊れるのではないかと心配になってしまう。

そこで、UNIX系のOSで使える**sensors**というコマンドと、UNIX系OS使いにはおなじみcronと、Rubyスクリプトを組み合わせでCPUの温度を監視するシステムを作ってみた。自宅サーバを立てている方にもオススメする。

105

2. 環境

OS: Linux(openSUSE 12.2)

Ruby: 1.9.3

他の環境で試していないが、たいていのUNIX環境で使える... と思う。ダメならあなたの環境に合わせて、適宜修正してほしい。

80

3. やりたいこと

- ◆ CPUの温度が危なくなったら、メールでその旨を警告する。
- ◆ 警告をsyslogにも反映させる。
- ◆ 5分ごとにCPU温度を取得する。

630

4. 戦略

sensorsコマンドをたたいてメールを送るスクリプト「sensors_check.rb」を、cronを使ってバックグラウンドで5分ごとに実行させる。もしCPUの温度が危なければ、メールとsyslogで警告する。
ちなみに、sensorsコマンドをたたくと、わたしの環境では以下のような出力が得られる。

```
coretemp-isa-0000
Adapter: ISA adapter
Physical id 0: +36.0°C (high = +82.0°C, crit = +100.0°C)
Core 0:      +35.0°C (high = +82.0°C, crit = +100.0°C)
Core 1:      +33.0°C (high = +82.0°C, crit = +100.0°C)
Core 2:      +31.0°C (high = +82.0°C, crit = +100.0°C)
Core 3:      +33.0°C (high = +82.0°C, crit = +100.0°C)
```